

2019.7.2 コンセプト

参加者：五島先生、清水さん、辻さん、田中

●次の商品を考えてみよう

- ・商品化：流通のしやすさ、汎用性⇒単価のベースを考える（～1000円）
- ・何を作るかが課題
- ・ベースとなる商品(実際に世の中で使われているもの)に一工夫
- ・ヒャクキンで試作したハサミはどうか(清水さん)

⇒ 3Dプリンターのできるので小ロットから製作可

●箸に着目

- ・箸で食べられるか、スプーンやフォークのみで食べられるかはその方の「自分らしさ」の維持にも大きく影響する
- ・どんな商品があるか→エジソンの箸など
- ・何が食べられると良いか⇒麺類は日本人の食文化でも重要

●どんな仕様が良いか

- ・大げさに形を変えず、ちょっとした工夫アイデアがあるもの
- ・麺類を食べられるものにしたい
- ・先端の接地面を増やす。
- ・食事用の箸の長さはほとんどが 19cm～22cm

⇒今まで長さで手を加えた箸が無い。14cmぐらいでも良いかも。バットも短く持った時のほうがミートしやすい。

●食べるト →別の検証データ収集も考慮し、一旦引き上げできるか清水さんから山上さんに打診

●次回：世の中の箸を知ろう！ 実物あるものは持って来よう！ 身近な箸の長さを測ろう

五島先生 エジソンの箸 清水さん 試作品作成 田中 八王子自助具 NPO にコンタクト

次回：8/6(火) 20:00～ ふれあい歯科ごとうにて